

令和6年度 第4回久御山町上下水道事業経営審議会 議事要旨

日時	令和6年9月3日(火) 10:00~11:30
場所	久御山町議会棟4階 特別会議室
次第	1 開会 2 委嘱書交付 3 議事 (1) 会長及び副会長の選出について (2) 令和6年度第3回会議の概要 (3) 答申(案)について (4) 今後のスケジュールについて 4 閉会
出席者	(委員) 西垣会長、伊藤副会長、松若委員、曾和委員、水野委員、寺井委員、大日方委員 欠席：久保田委員 (事務局) 中村副町長、高山事業環境部長、吉田上下水道課長、阪田上下水道担当課長、 奥田課長補佐、岩上課長補佐

会議

1 開会

- ※ 会議成立の報告
- ※ 関係人の出席の確認
- ※ 配布資料の確認

2 委嘱書交付

3 議事

- (1) 会長及び副会長の選出について
—事務局説明—

委員

- ・西垣会長、伊藤副会長には長く続けていただいているので、そのままお願いできればと思うが、いかがでしょうか。

【委員から「異議なし」の声】

事務局

- ・引き続き西垣委員、伊藤委員という推薦があったが、いかがでしょうか。

西垣委員

- ・引き続きよろしく申し上げます。

事務局

- ・伊藤委員はいかがでしょうか。

伊藤委員

- ・結構です。よろしくお願いします。

事務局

- ・審議会として、西垣委員を会長に、伊藤委員を副会長に決定する。

【西垣会長、会長席へ移動】

事務局

- ・会長が決定したので、改めて西垣会長からご挨拶をいただきたい。

会長

- ・昨今の宮崎沖地震や先週の台風の来襲等の状況の中で、水道事業として一番大事にしなければいけないことは、防災や安定的な水の供給にいかに備えるかということ。
- ・料金は改定するが、同時に、耐震化や管路の更新、経営等の安心の材料が積み上がってきたのではないかと思う。
- ・今日は、これまで議論してきた料金等について、答申という形で審議いただき、町へ答申するという運びとなる。引き続きよろしくお願ひしたい。

(2) 令和6年度第3回会議の概要

—事務局説明—

(3) 答申（案）について

—事務局説明—

副会長

- ・前回会議での指摘で、背景、経緯、見通しを含めていただいたが、今回の値上げによるメリットを明記することが望ましい。
- ・水道施設の更新・耐震化を計画的に実施する。そのために値上げが必要という書き方になっているが、料金改定によって安心、安全、持続という観点から見て、こういうことが達成できる、計画通りに進めることができるというような一文があると望ましい。

事務局

- ・ご指摘いただいた通り追加をさせていただければと。書く場所と内容は、検討させていただく。

会長

- ・2ページ「老朽管の計画的な更新」のところで、「現在は、重要給水施設配水管の耐震化を優先的に進めているが、その後は、残る管路について、短期的に集中的に布設された管路を一度に更新することは財政的にも困難であるため」とあるが、この「短期的に集中的に」が、「布設された」にかかるのか、「一度に更新する」の方にかかるのかわかりにくい。

事務局

- ・ご指摘いただいたことを踏まえ、検討する。

委員

- ・答申案はこの内容でいいが、前回会議までのことで気になったことがある。案8まで示され、限られた時間で検討するには必要な切り口での相対評価表が必要になる。
- ・1つ目に経営の安定化、2つ目に公平性の確保、3つ目に他市町とのバランス、4つ目に小口使用者への配慮。この切り口で、◎△と相対評価の星取表を作成し、議論できる環境にすべきであった。

会長

- ・評価軸について、資料の中でもわかる限り作っていただき、追加があれば追加し、共有した上で議論していくと良い。

事務局

- ・短い期間の中で改定案を見て、評価をしていただくため、今後、ご審議いただきやすいように工夫をしていく。

委員

- ・附帯意見の「長期シミュレーションと供給単価の見通し」で、危機感からすると、令和42年度に2倍になるというのは、ずいぶん先に感じるが、このぐらいの書き方がいいのか、どういう書き方が適正なのかとを感じる。

会長

- ・つい先頃、報道番組である町については今後、供給単価が4倍になることを見込んでいた。どの市町でシミュレーションをしても大変ということと、まだ、久御山町は恵まれていると感じた。
- ・約2倍になるということは、どの市町で試算しても傾向的に高くなっていくので、住民に急に心配を与えることがないようにすべき。
- ・結局、解決策としては、報道の中では、近隣の大規模な市町と事業統合するということがあった。
- ・京都府南部の市町の中で、徐々に連携を進めていくことを検討していかなければならないと思う。そのような解決策について、記載した方が安心感が出るのでは。

副会長

- ・委員にお尋ねしたいが、3ページの財政計画の「また、令和7年度以降についても、5年ごとに見直しをすることが見込まれている。」という説明と、グラフから5年後にも料金値上げが見込まれていることが、読み取れるか。

委員

- ・私は会議に参加しているので、読み取れるが、一般の方は読み取れないと思う。
- ・私達は5年後の令和12年に値上げがあるという前提ですが、そこをもう少し説明するということがか。

委員

- ・私も会議に出席しているので、グラフも見て理解している。
- ・附帯意見の「長期シミュレーションと供給単価の見通し」の令和42年度に倍になると言われても、金銭的な価値感その頃には変わっているであろうしピンとこない。
- ・改定に向けての会議は、その都度開かれるであろうが、住民も巻き込んで、みんなで考えていかないといけない一番大事な問題という感じを受ける。

副会長

- ・文章を読んで、図を見て読み取れるよう、もう少しクリアに書き足すべき。
- ・例えばグラフの令和2年、7年、12年のところに料金改定を実施することがわかるように記載しては。

事務局

- ・5年ごとに収支計画を見直して、その都度、議論しながら進めていくことが重要である。見せ方として、ご指摘いただいたことを検討させていただく。

委員

- ・5年ごとのスパンで料金の見直しが必要ということを大前提で進めていけば、皆さん分かると思う。
- ・私も報道を見ていて、他の市町村と一緒にやっていくのも1つの案と思う。今後はそういうことも考えながらやっていかなければならない。

会長

- ・京都府営水道の受水市町の間で、連携の検討を行っているところ。引き続き久御山町としても検討いただければと思う。
- ・長期シミュレーションの中で、令和42年には供給単価が今の約2倍になると説明する時には、様々な原材料や給与、インフレ等の前提条件を含めて説明すべき。
- ・この30年間ほとんど物価は上昇していないが、今は2%程度の物価上昇を皆さんも意識している状況。水道料金が2倍になる時の社会の一般的な物価上昇がどの程度なのかわかればいいと思う。

委員

- ・今回の料金改定は、水道事業を5年間運営していくための最低限の値上げであったと思う。
- ・資金ショートを回避することを条件に、配水場を休廃止することも検討し最小限にコストを見積もって、総括原価方式によれば含めるべき資産維持費も見込まず、目の前にある危機を回避するための最低限の値上げであるということ、もう少し厳しめに記載すべきでは。
- ・物価上昇もあり、今後、金利のある世界に突入していくということなので、企業債残高が40億を超える、その分金利も負担が大きくなっていくということも記載すべきでは。

会長

- ・ご指摘が3点あり、1点は今回の料金改定は資金ショートを回避するための最低限の目標である、2点目は長期シミュレーションの結果を受けての今後の対応策、3点目は金利が今1%程度だが、高くなったときの企業債残高の金利負担等のコストのあり方である。

委員

- ・先日、町長選挙があり、新しく立候補された方の目玉として、水道料金の値上げ凍結ということを変訴えられていた。元々議員さんのため、この16.9%の値上げのことはご存知だったけど、値上げしないことをすごくアピールされてたので、また一から町民の皆様の理解を得るのがちょっと難しいことになるのでは。
- ・どういう対策で値上げ凍結なのか聞く機会はなかったが、思ってるより、もう少し丁

寧に、住民の皆様の説明しないといけなくなると思う。

会長

- ・それはなかなか大変なこと。確かに水道料金は、市民の皆さんの関心が高いことですので。

委員

- ・本当に私達としては、最低限ぎりぎりと思っていたのに、どうすれば改定しないで出来るのかと思う。

委員

- ・何か具体的な案があつて凍結と言ってるのか。

事務局

- ・一般会計から 8,000 万円ぐらい繰り入れると。

副会長

- ・ 5 ページの附帯意見の「使用者への周知・理解」で、文面としてはこれで良い。広報及び広聴と書いてあり、広聴のところがとても大事である。
- ・ 料金改定について一方的に理解を求めるのではなく、このようなことを町としては考えているがいかがでしょうかと問いかけていただきたい。問いかけに対して住民がレスポンスできる形での説明会とする方がよい。
- ・ 双方向のコミュニケーションの確保と意識醸成は、5 年後を見据えての中・長期的な話である。

会長

- ・ 今回は、アナウンスが大変大事だと実感したところ。また、そのアナウンスが今回の料金改定だけではなく、5 年後の再検討に向けても様々な情報提供を心がけなくてはいけないという、そういうご指摘であった。

事務局

- ・ 使用者のご理解を図るため、機関誌を新たに発行したり、ホームページを充実させたり、この経営審議会の常設もその一つであろうかと思う。
- ・ 副会長には当初からご指摘をいただいております、みんなで支える水道ということへのご理解をいただき、説得ではなく意識を共有できるようにしたい。
- ・ 今後、住民・企業説明会や出前説明会を検討しており、丁寧に行っていきたいと思いを持っておりますので、また、ご意見をいただければと思う。

会長

- ・ 将来的な人口減少や水の使用量の減少、更新投資に伴う供給単価の上昇について、一般的には、事業の効率性を上げることや連携を考えるが、同時にもう一つ解決策としてよく検討されているのは、コンパクトシティ化。
- ・ アメリカなどでは、供給区域を絞っているが、日本ではなかなか難しく、また、久御山町は最初からコンパクトシティが実現しているような町なので、それも難しいが、そういった構造的なことも考えていかななくてはいけない。

副会長

- ・ 5 ページの「長期シミュレーションと供給単価の見通し」に、適切な料金、企業債、投資のあり方を検討とあり、「おわりに」のところには、経営効率化に努めますとある

が、広域連携あるいは経営形態そのものの検討というような、町内にとどまらない話
も文言としてはある方がよい。

- ・一層の経営効率化は、まさかこれ以上人員を減らすのではないかと思う。全国の水
道事業体で職員がどんどん減ってきた。もうこれ以上減らしたら駄目であり、水道は困
難な問題をいっぱい抱えているので、むしろ人員増強するべき。
- ・経営効率化をやると表現することに、ちょっと私は疑問を感じる。

会長

- ・「おわりに」のところや「長期シミュレーション」のところに、広域連携と書ける範囲
で書いて、文言を追加する方がよい。

事務局

- ・広域化・広域連携については、大きな話であり、受け止められる印象で誤解を招かな
いように、書き方について検討させていただく。

事務局

- ・久御山町として広域化、広域連携というと、京都府の会議に出席しており、部長以上
が出席する会議は、議会の方でも逐一報告しており、広域連携については、オープン
に進めている。
- ・私が課長のときに伊藤先生に委員のお願いに行き、そのときからみんなで支えるとい
う姿をご教授いただいて、それを意識して進めている。
- ・シンポジウムという面でも、6月5日の環境の日に西垣会長、水野委員にもご出席い
ただいたが、そういう活動も今後も水道の大切さを見える化して進めていきたい。

会長

- ・料金改定は住民の皆様に負担を強いることになるが、その料金改定が将来にどう繋が
るのか、この料金改定によって何が得られるのかを、ご理解いただけるように説明を
尽くして、今後の水道事業にもご協力いただくことが大事との議論であった。
- ・この審議会の中でのそういう思いを、ぜひ議会の方にもお伝えいただけたらと思う。

事務局

- ・本日いただいたご意見を答申案に反映させ、会長と調整させていただいて、会長一任
でというような形で進めさせていただきたい。

(4) 今後のスケジュールについて

－事務局説明－

副会長

- ・スケジュールについては了解した。この後、町議会にいつ上げて、いつ頃議決を得る
のか。

事務局

- ・本日、答申案についてご協議いただいた内容を、まず町議会の方にも説明をして、ご
答申をいただいた後に、町としての方針を決定した上で、12月議会の上程を目指して
いる。
- ・料金改定については答申案の中にもある通り、令和7年4月以降の料金に対してと考

えている。

副会長

- ・10月の後半に住民・企業説明会等とあるが、一回で終わらず必要に応じて様子を見ながら何回も丁寧に説明会を開かれるのがよい。

事務局

- ・ご指摘のとおり、一度で説明会を終えず、場所も分けて開催する。また、その説明会にお越しいただけない方に対しては、出向いて説明をする出前説明会も予定しており、丁寧に説明をしていく。

会長

- ・出前説明会というのは、町内会か何かそういう対象にか。

事務局

- ・イメージは自治会さんやサークルさんなどで、集まられているところに我々が出向いて行くというのを想定している。

4 閉会

- ※ 閉会の挨拶

事務局

- ・4月19日の第1回審議会から本日まで、4回にわたりまして、水道事業の料金改定について、本当に熱心にご議論いただきありがとうございます。
- ・信貴町長は、8月28日から4期目の新たな町政運営を担うということで、スタートをさせていただいた。
- ・答申案にも示していただいているように、更新や耐震化を適切にやっていくための水道料金ということで、適切な方向でやっていきたいと考え、住民の方にもきちっと説明をさせていただく。
- ・東日本大震災や能登半島地震で水道施設の断水が広域的に起こり、更新や耐震化が非常に大きくクローズアップされている。町もこういった観点でしっかりと対応をしていかなければならないと考えている。
- ・住民説明会は、平日や休日等の工夫をして参加いただける機会をしっかりと作って行う。また、こちらからも出向いていくというような仕掛けも行う。
- ・今回は、資金ショートを回避するための最低限の改定ということになるかと思うが、今後も見直しをしながら、適切な料金改定で運用できるように努めていく。
- ・広域という話も出たが、やはりこれからは長期的な視点に加えて、広域的な視点も入れて、料金を見ていかなければならないと思う。
- ・今回の内容を真摯に受け止めて、町議会等にも説明をして、また住民説明会もしっかり行いご理解をいただけるように努めてまいりたい。

【散会】

以 上